

第3回 病院・医療機関対象 危機管理広報セミナー

「まさかの時のメディア対応」を演習で学ぶ

●日時：11月16日（木）13:00-18:00

●会場：広報の学校「銀座教室」

●定員：セミナー会場受講：20名、WEB受講：10名

～ 質問もできるリアルタイム中継によるPC・スマホでのWeb受講も可能 ～

見逃した場合や繰り返し視聴できるアーカイブの特典付き

PR総合研究所／共和ピー・アール(株)

拝啓 向寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

医療機関では、多数の死亡者を出した腹腔鏡手術ミスをはじめ、医療事故はもとより、個人情放漏洩、医師・医療従事者の不祥事、スタッフのSNS炎上、医療訴訟、など社会的批判を浴びる事例が続き世間の耳目を集めています。

危機管理と広報の調査・研究機関「PR総合研究所（以下PR総研）」、ならびに、医療・医薬および大学の“広報”を専門領域とする「共和ピー・アール株式会社」は、医療関連機関に特化した、具体的でリアルティのあるリスクシナリオによる演習で、緊急時メディア対応の実践知識・スキルを習得する「病院・医療施設対象 危機管理広報セミナー ～『まさかの時のメディア対応』を演習で学ぶ～」を開催します。

目覚ましい医療技術・研究の進歩に加え、超高齢社会を迎えた日本では医療や健康に対する関心が年々高まり、メディアも医療関係の専門チームを立ち上げ報道に力を入れています。医療施設はそもそも公的で社会的な存在として位置づけられており、万一ネガティブな問題が起きれば、メディアの集中的な取材や報道がなされるのは言うまでもありません。従って、問題発生時にメディアへの初期対応でのミスや失敗は、二次被害的に信用・信頼の失墜という、重大なダメージを受けることにつながりかねません。

危機管理の巧拙と緊急時のクライシスコミュニケーション（危機管理広報）が、施設の信用・信頼の維持に大きく係わってくる、ということが認識されながらも、では、具体的にどうすればいいのか、悩まれている方も多いのではないのでしょうか？

- ✓ 万一、重大事が発生しマスコミが殺到した時の対応はどうか、対応のポイントは何か・・・
- ✓ 電話取材をはじめ取材には具体的にどう対応すればいいのか、何をしてはいけないのか・・・
- ✓ メディア向けの発表文（ニュースリリース）はどうか、万一の緊急記者会見はどう開くのか・・・

本セミナーは、医療施設の現場で実際に起こりうるリスクを設定して、医療施設の広報、総務、安全管理の責任者・担当者の危機管理対応能力向上を目的とした専門研修セミナーです。講師は医科大学の危機管理広報コンサルタントとして豊富な経験を持ち、長年にわたって、多くの医療機関で研修、セミナーの講師をつとめたPR総研所長の篠崎良一が担当いたします。

「危機管理の基礎」「実務教育の一環」としてご参加いただけますようご案内申し上げます。

敬具

『病院・医療施設対象 危機管理広報セミナー』実施要領

- 対象者 広報、総務、安全管理部門の責任者・担当者
- 日時 2017年11月16日(木) 13:00~18:00
- 会場 広報の学校「銀座教室」
住所：東京都中央区銀座7-2-22 DOWAビル3F
- 定員 ①セミナー会場 20名 ※参加者が少数の場合、実施しないこともございます。
②WEB受講 10名 ※参加者が少数の場合、実施しないこともございます。
- 受講料 お1人様 21,600円(消費税込、レジュメ・資料代含む)
- 申込方法 1.「受講申込書」に会場受講かWEB受講のいずれかを明記のうえ、FAXでお申込み下さい。
**★WEB受講をご希望の方は、申込前に、インターネット環境をお確かめ下さい。
詳しくは次頁をご参照ください。**
2.「会場受講」を申し込まれた方には、事務局より「受講証」を郵送いたします。
「WEB受講」に申し込まれた方には、アドレスとIDとメールでお送りします。
3.「受講証」および「アドレスとメール」がお手元に届きましたら、11月15日(水)までに、下記口座に受講料お振込みください。
なお、当日、受付でのお支払いをご希望の方は、申し込み用紙の「通信欄」にその旨ご記入ください。
4.受講をキャンセルされる場合は、11月15日(水)までにご連絡ください。15日(水)までに、ご連絡がない場合は、受講料の返却はできかねます。
- FAX送付先 03-5537-0470 (共和ピー・アール/P R総研『危機管理広報セミナー』係)
- 申込締切 11月14日(火)必着 ※先着順、定員になり次第締切りとさせていただきます。
- 支払方法 11月15日(水)までに下記口座にお振込みください。
<振込先> 三井住友銀行 銀座支店 (普) 7955980
(口座名) 共和ピー・アール株式会社
- ◎付記 ※参加者が少数の場合、実施しないこともございます。
※請求書、領収書が必要な方は申込書にご記入下さい。
※申し込みされた方が参加できない場合の代理出席は可能です。

この件に関するお問い合わせ先

危機管理広報セミナー事務局 (共和ピー・アール内) 小島

〒104-8206 東京都中央区銀座7-2-22 DOWAビル

TEL. 03-5537-0578 FAX. 03-5537-0740 e-mail:k.kojima@kyowa-pr.co.jp

★WEB 受講をご希望の方へ

【Web 受講特典】

Web 受講の方は、テキスト質問が可能なリアルタイム・ライブ中継での受講の他に、開催日 2 週間後から、視聴期間 1 週間にて再放送（録画）をご覧になることができます。

※再放送日は、別途ご連絡いたします。

インターネット環境のご確認について

セキュリティの設定や、動作環境によってはご視聴いただけない場合があります。以下のサンプル動画が閲覧できるか、必ず事前にご確認の上お申し込みください。

◎テスト視聴サイト deliveru.jp/pretest5/
ID livetest55
PW livetest55

■ 推奨環境について

今回の動画配信は、株式会社ファシオ（www.vita-facio.jp/）の配信プラットフォーム「Deliveru」を使用しています。推奨環境・ご質問は下記 URL をご参照ください。

◎推奨環境 deliveru.jp/faq/#Q7
◎よくあるご質問 deliveru.jp/faq/

『病院・医療施設対象 危機管理広報研修』のご紹介

■本セミナーの特色

1. 実際の事例を挙げて、その問題点と対応策について解説します。
2. 緊急時の初動の危機管理広報の重点ポイントを習得していただきます。
3. 緊急時の適切なメディア対応を、講義と演習を通して習得していただきます。

■講 師 PR 総合研究所 所長 篠崎 良一

■セミナー内容

WEBで受講された方は、セミナー開催日より2週間後からアーカイブにて視聴できます。

	内 容	
13:00～14:50 ＜第1部＞講義	<ul style="list-style-type: none"> ・事例研究「病院・医療施設での事故・事件」 医療機関の適切なリスク対応のあり方とは？ ・医療機関のリスク対応 医療リスク報道の契機／医療事故・事件に対するメディアの視点／情報公開における留意点／プレス発表の目的、公表基準、公表内容 ・危機管理の基本原則 危機管理と危機管理広報の目的／リスク評価の重要性／危機管理広報とブランド回復プロセス／失敗はなぜ起こるのか／平常時との広報の違い／危機管理のプロセス5つのダメージ／批判の三分野／危機管理の基本原則 ・危機管理広報 危機時の広報担当者の業務／マスコミの不祥事への視点／電話対応のポイント／対面取材のポイント／緊急記者会見が必要なケース／緊急記者会見の基本原則／記者会見対応のポイント／避けるべき失言／出席者の注意／コメントの注意／態度／Q & A作成のポイント 	
14:50～15:00	～ 休憩 ～	
15:00～17:50 ＜第2部＞演習	<p>解説：緊急対策本部トレーニングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダー確認／リスク評価 ・メディア対応方針・情報公開手法／ ・情報公開後リアクション想定と対応準備 <p>○演習・資料作成(グループワーク) ポジションペーパー／キーマッセージ／ ネガティブワード／ホールディングコメント／ ニュースリリース（web用）／記者会 見ステートメント／会見案内状／ Q&A 資料</p> <p>○グループワークの発表と講師解説</p>	<p>★WEB 受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に、演習資料をダウンロードしてご参加いただきます。 ・チャット機能を使って、講師に質問ができ、講師はその場から回答します。 <p>17：30頃、WEB 受講の方には「回答事例」を配信します。</p>
17:50～18:00	質疑応答	

— 参 考 —

【講師略歴】

篠崎 良一 PR 総合研究所 所長／広報の学校 学校長

早稲田大学第一文学部社会学専攻卒。出版社（日本実業出版社、ローリングストーンジャパン）を経て、共同 P R(株)入社、取締役、常務取締役、取締役副社長を経て現職。

2003 年 5 月『広報の学校』を開校。2013 年 1 月『P R 総研』を設立。

企業・団体の総合広報コンサルティング、TOP 広報コンサルティング、広報戦略策定、広報活動調査、広報部創設・育成指導、メディアトレーニングを担当。医療関連団体の危機管理コンサルティング、多くの危機管理研修、メディアトレーニング、講演を担当。

危機管理では欠陥商品、リコール、企業不祥事、訴訟問題、企業機密・個人情報漏洩、内部告発、差別・人権問題等、数多くの危機管理実務、クライシスコミュニケーションのコンサルティングを実施。（クライシス）メディアトレーニング、マニュアル制作、危機管理調査も担当。企業、行政、各種団体の講演、セミナー、研修講師を数多く実施。著書に『入門メディアトレーニング』（アニモ出版）、『実戦企業広報マニュアル』〈韓国版が 2004 年に刊行〉、『会社を守る！もしものときのメディア対応策』（共にインテックス・コミュニケーションズ）、『広報・P R 概論』（共著、同友館）、『広報・P R 実務』（監修、同友館）、『パブリックコミュニケーションの世界』（共著、北樹出版）他がある。日本広報学会、日本 P R 協会、日本コーポレートガバナンスネットワーク、各会員。（社）日本 P R 協会認定資格『P R プランナー』試験委員。

【PR 総合研究所】

共同 P R が、2013 年 1 月 31 日に創設した広報・危機管理・メディア等コミュニケーション領域の調査・研究機関。社外の有識者・専門家と社内のスタッフで構成。広報・PR 活動の価値向上を目的とした理論から応用までの幅広い実証的研究や調査及びセミナー、シンポジウムを実施しています。

【共和ピー・アール】

1981 年創業。共同 P R グループに属し、医療・医薬および大学関係を専門領域とし、豊富な実績を有する。マスメディアとのフェイス・トゥ・フェイスの折衝を通じた親密な友好関係を基盤に、さまざまな企業の広報支援を実施。

危機管理広報研修 係 FAX. 03-5537-0470

※キャンセルは 11月15日(水)までに必ずご連絡ください。

『危機管理広報研修』申込書

日時：2017年11月16日(木) 13:00~18:00

会場：広報の学校 銀座教室

東京都中央区銀座7-2-22 DOWAビル 3階

申込日 2017年 月 日

受講形態	<input type="checkbox"/> 会場で受講希望 <input type="checkbox"/> WEB受講希望 ※事前にインターネット環境をお確かめの上お申し込みください。		
貴施設名			
部署・役職名		御芳名	
御住所	〒		
TEL:			FAX:
e-mail			
請求書	要・不要 (どちらかに○)	請求書の宛先	
領収書	要・不要 (どちらかに○)	領収書の宛先	
《通信欄》 ご質問などございましたら当欄にご記入ください。			

*参加お申込みはFAXでお願いいたします。

*お申し込みされたご本人が参加できない場合の代理参加は可能です。

*「受講票」を参加者宛に送付いたしますので、当日ご持参ください。

*問い合わせ先 ☎03-5537-0578 共和ピー・アール「危機管理広報セミナー」係